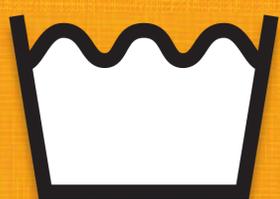


洗濯表示記号が 変わりました。

5つの基本記号と付加記号の組合せで表示されます。



洗濯のしかた



漂白のしかた



乾燥のしかた



アイロンの
かけかた



クリーニングの
種類

例



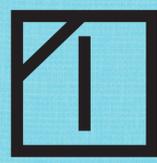
液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる

例



塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止

例



日陰のつり干しがよい

例



底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げができる

例



石油系溶剤によるドライクリーニングができる

▼ 5つの基本記号



+

▼ 付加記号

強さ	線なし 通常	— 弱い	== 非常に弱い	× 禁止
温度	● 低い	← → 高い	●●● 高い	

新しい表示を覚えて大切な衣類を正しく取り扱しましょう。

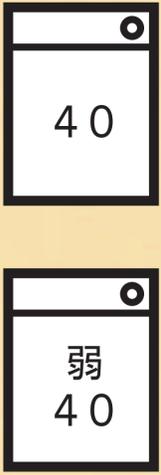
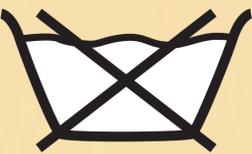
右記のQRコードを読み込んでいただくと、「簡単解説ページ」が表示されます。



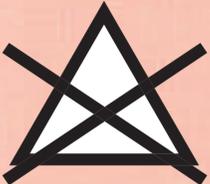
洗濯表示記号が変わりました!①

※なお、新旧の表示記号の意味は必ずしも一致しません。

洗濯のしかた

H28.11.30 まで	H28.12.1 から	新記号の意味
		<p>洗濯機洗いができます。</p> <p>数字は洗濯温度の上限です。</p> <p>左の場合は「40℃以下」で洗います。</p> <p>また、「—」が増えるほど、弱い洗い方になります。</p>
		<p>押し洗いなどの「手洗い」のことで、一番優しい洗い方です。</p> <p>上限温度は40℃です。</p>
		<p>家庭での洗濯はできません。</p>

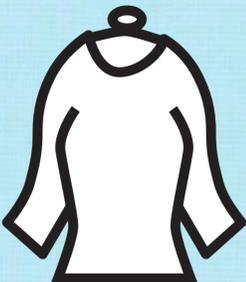
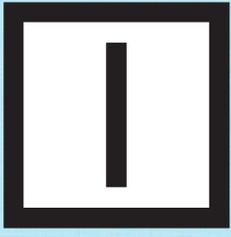
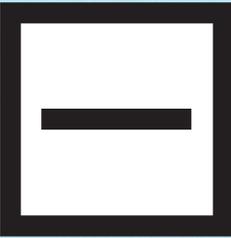
漂白のしかた

H28.11.30 まで	H28.12.1 から	新記号の意味
		<p>塩素系漂白剤、酸素系漂白剤いずれも使えます。</p>
		<p>酸素系漂白剤のみが使えます。</p>
		<p>漂白剤は使えません。</p>

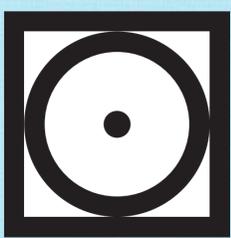
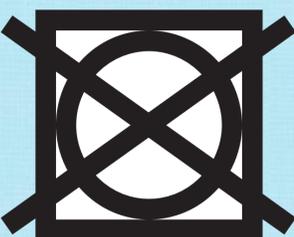
洗濯表示記号が変わりました!②

※なお、新旧の表示記号の意味は必ずしも一致しません。

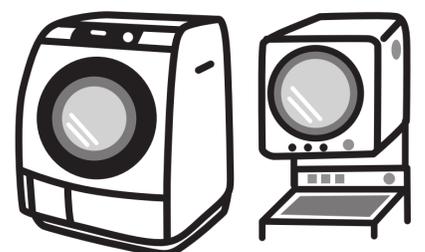
乾燥のしかた（自然乾燥）

干し方	H28.11.30まで	H28.12.1から	新記号の意味
つり干し 			脱水後、ハンガーなどにつるして干します。
平干し 			脱水後、平らな場所に広げて干します。
陰干し 		 (つり干しの陰干し)	「斜線」がある場合は日陰で干します。
ぬれ干し 	なし	 (平干しのぬれ干し)	線が2本の場合は、脱水せずに干します。

乾燥のしかた（タンブル乾燥）

H28.12.1から	新記号の意味
	家庭用のタンブル乾燥機（注）が使えます。 「・」の数が多いほど高温で処理できます。
	タンブル乾燥はできません。

（注）タンブル乾燥機とは

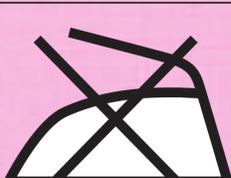


機械の中で洗濯物を回転させながら温風で乾燥する衣類乾燥機。日本の家庭では、洗乾一体型洗濯機や回転式衣類乾燥機などがこれに相当します。

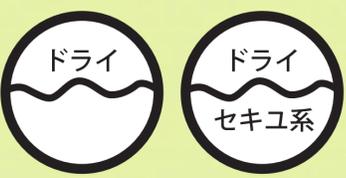
洗濯表示記号が変わりました!③

※なお、新旧の表示記号の意味は必ずしも一致しません。

アイロンのかけかた

H28.11.30 まで	H28.12.1 から	新記号の意味
		アイロン掛けができます。 底面温度の上限 200℃まで
		底面温度の上限 150℃まで
		底面温度の上限 110℃まで
		アイロン掛けはできません。

クリーニング店での洗い方

H28.11.30 まで	H28.12.1 から	新記号の意味
		ドライクリーニングができます。 <small>※ P、F は使用する有機溶剤の種類です。</small>
		ドライクリーニングはできません。
なし		ウェットクリーニング(注)ができます。
なし		ウェットクリーニングはできません。

(注) ウェットクリーニングとは、クリーニング店が特殊な技術で行うプロの水洗いと仕上げによる洗濯のことです。